

2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月11日

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所 東
 コード番号 5271 URL <http://www.toyoasano.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 泰右
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 敏彦 (TEL) 055-967-3535
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 2019年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	6,039	△31.9	153	△86.3	156	△85.6	86	△87.6
2019年2月期第2四半期	8,870	12.4	1,122	131.2	1,090	138.7	694	140.1

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 86百万円(△87.5%) 2019年2月期第2四半期 688百万円(133.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年2月期第2四半期	円 銭 67.43	円 銭 —
2019年2月期第2四半期	546.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2020年2月期第2四半期	百万円 13,427	百万円 3,437	% 25.1
2019年2月期	14,964	3,398	22.2

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 3,366百万円 2019年2月期 3,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年2月期	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 —	円 銭 75.00	円 銭 100.00
2020年2月期	—	25.00			
2020年2月期(予想)			—	50.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,100	△14.4	560	△56.8	530	△57.6	320	△60.4	248.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年2月期2Q	1,440,840株	2019年2月期	1,440,840株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	145,087株	2019年2月期	171,918株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年2月期2Q	1,280,359株	2019年2月期2Q	1,268,950株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当社の期初想定どおり景気の足踏み状態で推移しております。また、足元においても景気の減速感が強まっている可能性があり、期初想定に対して下振れて推移しているものと認識しております。海外におきましては、米中貿易摩擦の激化に端を発した中国経済の減速や英国のEU離脱問題等の影響で外需の減速などが強まるなど、不確実性が高まり、先行きは一層不透明な状況となっております。

当社グループの事業分野であります建設業界におきましては、雇用・所得環境および企業収益の改善が続くなか、企業設備投資が緩やかに増加し、緩やかな回復基調で推移していくことが見込まれる状況であります。

当社の主力事業でありますコンクリートパイル事業につきましては、需要の減速感が強まり、極めて厳しい事業環境となりました。需要につきましては、当社の主力地区であります関東地区における落ち込みが特に大きく、全国需要も低迷しております。

コンクリートセグメント事業につきましては、大型プロジェクトの端境期にあり、極めて厳しい状況が続いております。

不動産賃貸事業につきましては、安定した業績で推移しております。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

①コンクリート二次製品事業

コンクリート二次製品事業の主力事業でありますコンクリートパイル部門につきましては、当初計画においては、第2四半期より売上高の回復を見込んでおりましたが、大型物件を中心に着工開始が遅れたこと、景気の減速感が当初の想定より強く、需要自体が弱含みであったことなどから、売上高が大幅に下回る結果となり、利益に関しましても減収、稼働率の低下等による影響の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,452百万円（前年同四半期比39.0%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比99.5%減）となりました。

②コンクリートセグメント事業

昨年度以降、大型プロジェクトの端境期にあり、極めて厳しい事業環境が続いている結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、679百万円（前年同四半期比26.6%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比39.7%増）となりました。

③工事業

品質保証体制の強化、経営資源の拡充および顧客ニーズに即した工法の開発などに取り組んでまいりましたが、コンクリート二次製品事業と同様の理由により、売上高、利益とも低調に推移した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,809百万円（前年同四半期比26.6%減）、営業利益は388百万円（前年同四半期比42.2%減）となりました。

④不動産賃貸事業

前連結会計年度に発生した台風被害により建物修繕を実施したことにより利益が若干低下した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、97百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は56百万円（前年同四半期比28.1%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,039百万円（前年同四半期比31.9%減）、営業利益は153百万円（前年同四半期比86.3%減）、経常利益は156百万円（前年同四半期比85.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は86百万円（前年同四半期比87.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,536百万円減少して13,427百万円となりました。これは主に電子記録債権が141百万円、商品及び製品が132百万円増加し、現金及び預金が673百万円、受取手形及び売掛金が877百万円、未成工事支出金が333百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、1,575百万円減少して9,989百万円となりました。これは主に短期借入金が90百万円増加し、支払手形及び買掛金が711百万円、電子記録債務が333百万円、長期借入金が149百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて38百万円増加して3,437百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、2019年4月12日の決算発表に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたしました。具体的な内容につきましては、2019年9月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,127,298	1,454,102
受取手形及び売掛金	2,861,668	1,983,722
電子記録債権	786,243	928,149
商品及び製品	434,962	567,330
原材料及び貯蔵品	136,905	180,472
未成工事支出金	409,845	75,981
その他	91,348	93,298
流動資産合計	6,848,270	5,283,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,447,695	1,407,734
土地	4,884,384	4,884,384
その他(純額)	874,619	884,191
有形固定資産合計	7,206,698	7,176,310
無形固定資産	121,811	115,895
投資その他の資産		
投資有価証券	155,588	204,796
その他	632,000	647,540
貸倒引当金	△300	△300
投資その他の資産合計	787,288	852,037
固定資産合計	8,115,798	8,144,242
資産合計	14,964,069	13,427,298
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,728,470	2,017,401
電子記録債務	1,275,815	942,133
短期借入金	2,055,149	2,144,694
未払法人税等	164,803	84,925
その他	958,571	611,707
流動負債合計	7,182,809	5,800,862
固定負債		
長期借入金	3,470,984	3,322,316
退職給付に係る負債	422,164	429,447
その他	489,335	437,066
固定負債合計	4,382,484	4,188,829
負債合計	11,565,294	9,989,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	720,420	720,420
資本剰余金	677,522	706,858
利益剰余金	2,270,464	2,261,632
自己株式	△126,003	△106,560
株主資本合計	3,542,403	3,582,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△720	△6,875
退職給付に係る調整累計額	△214,507	△208,562
その他の包括利益累計額合計	△215,227	△215,437
非支配株主持分	71,598	70,693
純資産合計	3,398,774	3,437,606
負債純資産合計	14,964,069	13,427,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
売上高	8,870,307	6,039,313
売上原価	6,906,532	5,019,956
売上総利益	1,963,774	1,019,357
販売費及び一般管理費	840,825	865,761
営業利益	1,122,949	153,596
営業外収益		
受取利息	883	548
受取配当金	6,361	7,169
受取保険金	—	24,421
その他	9,140	5,213
営業外収益合計	16,385	37,352
営業外費用		
支払利息	40,902	34,159
投資有価証券評価損	7,943	—
その他	291	43
営業外費用合計	49,137	34,202
経常利益	1,090,197	156,746
特別損失		
固定資産売却損	62	—
固定資産除却損	0	20
特別損失合計	62	20
税金等調整前四半期純利益	1,090,134	156,725
法人税、住民税及び事業税	395,961	70,446
法人税等合計	395,961	70,446
四半期純利益	694,172	86,278
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	128	△58
親会社株主に帰属する四半期純利益	694,044	86,337

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)
四半期純利益	694,172	86,278
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,572	△6,155
退職給付に係る調整額	△3,634	5,998
その他の包括利益合計	△5,206	△156
四半期包括利益	688,965	86,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	688,866	86,127
非支配株主に係る四半期包括利益	98	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	4,019,102	926,515	3,827,088	97,600	8,870,307	—	8,870,307
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	66,580	—	—	17,324	83,904	△83,904	—
計	4,085,683	926,515	3,827,088	114,925	8,954,212	△83,904	8,870,307
セグメント 利益	666,673	2,425	671,710	78,874	1,419,684	△296,735	1,122,949

(注) 1 セグメント利益の調整額△296,735千円には、セグメント間取引消去9,561千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△306,297千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	2,452,411	679,638	2,809,496	97,767	6,039,313	—	6,039,313
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	39,893	—	—	17,324	57,217	△57,217	—
計	2,492,304	679,638	2,809,496	115,091	6,096,530	△57,217	6,039,313
セグメント 利益	3,085	3,389	388,062	56,712	451,249	△297,653	153,596

(注) 1 セグメント利益の調整額△297,653千円には、セグメント間取引消去9,552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△307,206千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。